

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	はりきゅう理論 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	仲條 佐登美			
学習目標と講義概要	鍼灸医学の成り立ちについて古代から現在に至るまでの歴史を学ぶ。鍼灸の理論や技術について理解を深め、「鍼灸術とは何か」という定義からはじまり、臨床で用いる器具、技術、衛生処置など鍼灸の基礎知識を学ぶ。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	鍼の基礎知識	
2	1	2	鍼灸の歴史①	
3	1	2	鍼灸の歴史②	
4	1	2	刺鍼の方式と術式①	
5	1	2	刺鍼の方式と術式②	
6	1	2	特殊鍼法①	
7	1	2	灸の基礎	
8	1	2	灸の種類	
9	1	2	鍼灸の臨床応用①	
10	1	2	鍼灸の臨床応用②	
11	1	2	リスク管理①	
12	1	2	リスク管理②	
13	1	2	リスク管理③	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 新版 経絡経穴概論:医道の日本社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて5年以上臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	東洋医学概論Ⅲ			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	北村 恵美子				
学習目標と講義概要	東洋医学の診断法としての「四診」と、治療方針の立て方・治療方法である「弁証論治」について理解し、鑑別を出来るようにする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	四診(望診)①		
2	1	2	四診(望診)②		
3	1	2	四診(聞診)①		
4	1	2	四診(聞診)②		
5	1	2	四診(問診)①		
6	1	2	四診(問診)②		
7	1	2	四診(切診)①		
8	1	2	四診(切診)②		
9	1	2	弁証①		
10	1	2	弁証②		
11	1	2	弁証③		
12	1	2	論治①		
13	1	2	論治②		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
新版東洋医学概論:医道の日本社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	生体観察		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	西村 希史			
学習目標と講義概要	生体構造を臨床の視点から捉えられる知識を身に付けることを目的とする。 臨床現場で応用可能な局所構造の理解を深め、それらについて論じられるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	体幹の筋と局所解剖1	
2	1	2	体幹の筋と局所解剖2	
3	1	2	体幹の筋と局所解剖3	
4	1	2	上肢の筋と局所解剖1	
5	1	2	上肢の筋と局所解剖2	
6	1	2	上肢の筋と局所解剖3	
7	1	2	上肢の運動	
8	1	2	下肢の筋と局所解剖1	
9	1	2	下肢の筋と局所解剖2	
10	1	2	下肢の筋と局所解剖3	
11	1	2	下肢の運動	
12	1	2	頭頸部の筋と局所解剖1	
13	1	2	頭頸部の筋と局所解剖2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
解剖学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	東洋医学臨床 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	市川 隼			
学習目標と講義概要	頭頸部にみられる疾病や症状に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臟腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	治療総論	
2	1	2	頭痛・眼精疲労①	
3	1	2	頭痛・眼精疲労②	
4	1	2	顔面痛・顔面麻痺①	
5	1	2	顔面痛・顔面麻痺②	
6	1	2	歯痛①	
7	1	2	歯痛②	
8	1	2	鼻閉・鼻汁①	
9	1	2	鼻閉・鼻汁②	
10	1	2	脱毛症①	
11	1	2	脱毛症②	
12	1	2	めまい・耳鳴り・難聴①	
13	1	2	めまい・耳鳴り・難聴②	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合 計				
15	15	30		
学習方法 1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	東洋医学臨床Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	加瀬 静馬			
学習目標と講義概要	<p>体幹部にみられる疾患や症状に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臟腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。</p>			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	咳嗽・喘息①	
2	1	2	咳嗽・喘息②	
3	1	2	胸痛①	
4	1	2	胸痛②	
5	1	2	腹痛①	
6	1	2	腹痛②	
7	1	2	悪心・嘔吐①	
8	1	2	悪心・嘔吐②	
9	1	2	月経異常①	
10	1	2	月経異常②	
11	1	2	月経異常③	
12	1	2	排尿障害・インポテンツ①	
13	1	2	排尿障害・インポテンツ②	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
<p>学習方法 1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説</p>				
<p>評価方法 単位認定試験</p> <p>「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。</p>				
<p>教科書</p> <p>新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂</p>				
<p>教員について【実務経験有】</p> <p>担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。</p>				

## 2024年度 授業要項

区 分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	東洋医学臨床Ⅲ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	市川 隼			
学習目標と講義概要	全身症状がみられる疾病、小児や高齢者特有の疾患に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臓腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	高血圧症・低血圧症①	
2	1	2	高血圧症・低血圧症②	
3	1	2	食欲不振・肥満①	
4	1	2	食欲不振・肥満②	
5	1	2	発熱、のぼせと冷え①	
6	1	2	発熱、のぼせと冷え②	
7	1	2	不眠①	
8	1	2	不眠②	
9	1	2	疲労と倦怠①	
10	1	2	疲労と倦怠②	
11	1	2	発疹①	
12	1	2	発疹②	
13	1	2	小児の疾患・老年医学における鍼灸治療	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合 計				
15	15	30		
学習方法 1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 新版東洋医学臨床論(はりきょう編):南江堂				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	東洋医学臨床IV		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	仲條 佐登美			
学習目標と講義概要	運動器疾患に対し、現代医学と東洋医学の両面から病態把握や治療法を学習する。現代医学的考え方では、適切な病態把握をしたうえで鍼灸治療の適否を判断できるようにし適応疾患に対しての治療法を学習する。東洋医学的考え方では、気血津液病証や臟腑病証などをもとに弁証に基づく治療法を学習する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	肩こり・頸肩腕痛①	
2	1	2	肩関節痛・上肢痛②	
3	1	2	肩関節痛・上肢痛①	
4	1	2	肩関節痛・上肢痛②	
5	1	2	腰下肢痛①	
6	1	2	腰下肢痛②	
7	1	2	膝痛①	
8	1	2	膝痛②	
9	1	2	運動麻痺①	
10	1	2	運動麻痺②	
11	1	2	スポーツ医学における鍼灸治療①	
12	1	2	スポーツ医学における鍼灸治療②	
13	1	2	スポーツ医学における鍼灸治療③	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
新版東洋医学臨床論(はりきゅう編):南江堂				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて5年以上臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	応用実技 I		履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	鍼灸実技室
教員名	市川 隼、加瀬 静馬			
学習目標と講義概要	スポーツ・整形外科臨床において、重要な技術を習得。座学で覚えた解剖学知識を臨床レベルまで落とし込む事を目的とし、解剖学的に正確な刺鍼が出来るようにする。 部位を理解し、触察した感覚を用いて刺鍼の深さ・方向を適切に刺入できるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	概要・基礎の確認	
2	1	2	骨格の基礎確認①	
3	1	2	骨格の基礎確認②	
4	1	2	骨格の基礎確認③	
5	1	2	骨格の基礎確認④	
6	1	2	筋骨格の基礎①	
7	1	2	筋骨格の基礎②	
8	1	2	筋骨格の基礎③	
9	1	2	筋の基礎と刺入①	
10	1	2	筋の基礎と刺入②	
11	1	2	筋の基礎と刺入③	
12	1	2	筋の基礎と刺入④	
13	1	2	筋の基礎と刺入⑤	
14	1	2	筋の基礎から応用治療①	
15	1	2	筋の基礎から応用治療②	
16	1	2	筋の基礎から応用治療③	
17	1	2	筋の基礎から応用治療④	
18	1	2	総まとめ	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	解答解説	
合 計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
はりきゅう実技基礎編を使用する場合は有る。				
教員について【実務経験有】				
担当両教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				



## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	応用実技Ⅱ		履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	鍼灸実技室
教員名	市川 隼、仲條 佐登美			
学習目標と講義概要	部位を理解し、触察した感覚を用いて刺鍼の深さ・方向を適切に刺入できるようにする。 運動器疾患に有効な治療を学習する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	筋骨格の応用①	
2	1	2	筋骨格の応用②	
3	1	2	体幹の臨床応用①	
4	1	2	体幹の臨床応用②	
5	1	2	体幹の臨床応用③	
6	1	2	体幹の臨床応用④	
7	1	2	上半身部についての確認①	
8	1	2	上半身部についての確認②	
9	1	2	肩甲骨に纏わる筋の確認①	
10	1	2	肩甲骨に纏わる筋の確認②	
11	1	2	肩甲骨に纏わる筋の確認③	
12	1	2	背部解剖の観察①	
13	1	2	背部解剖の観察②	
14	1	2	背部解剖の観察③	
15	1	2	腰部解剖の観察①	
16	1	2	腰部解剖の観察②	
17	1	2	腰部解剖の観察③	
18	1	2	総まとめ	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	解答解説	
合計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
はりきゅう実技基礎編を使用する場合は有る。				
教員について【実務経験有】				
担当両教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	応用実技Ⅲ			履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	鍼灸実技室
教員名	西村 希史				
学習目標と講義概要	現代医学的考え方と東洋医学的考え方の両面で病態を把握し、病態および証に基づく選穴、正確でスムーズな取穴、安全で効果的な刺鍼、心地良い施灸の技術の向上を目指し、臨床家としての能力向上を目的とする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	基本刺鍼、施灸の練習		
2	1	2	肩こり I		
3	1	2	肩こり II		
4	1	2	肩こり III		
5	1	2	頭痛 I 病態把握		
6	1	2	頭痛 II 筋緊張性頭痛		
7	1	2	頭痛 III 血管性頭痛		
8	1	2	眼精疲労 I 病態把握		
9	1	2	眼精疲労 II		
10	1	2	眼性疲労 III		
11	1	2	めまい・耳鳴り・難聴 I		
12	1	2	めまい・耳鳴り・難聴 II		
13	1	2	めまい・耳鳴り・難聴 III		
14	1	2	便秘・下痢 I 病態把握		
15	1	2	便秘・下痢 II		
16	1	2	便秘・下痢 III		
17	1	2	便秘・下痢 IV		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合は有る。					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

## 2024年度 授業要項

区分			専門分野	履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名			応用実技Ⅳ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			加瀬 静馬		
学習目標と講義概要	病態を把握し、解剖学的・東洋医学的に選穴し、臨床能力向上を目的とし治療方法を学ぶ。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	風邪症候群 I 咳嗽・咽頭痛		
2	1	2	風邪症候群 II 鼻閉・鼻汁		
3	1	2	風邪症候群 III 悪寒・発熱		
4	1	2	排尿障害 I 病態把握		
5	1	2	排尿障害 II		
6	1	2	排尿障害 III		
7	1	2	頭痛 東洋医学的考え方 I		
8	1	2	頭痛 東洋医学的考え方 II		
9	1	2	不眠 東洋医学的考え方 I		
10	1	2	不眠 東洋医学的考え方 II		
11	1	2	不眠 東洋医学的考え方 III		
12	1	2	症例トレーニング 基礎1		
13	1	2	症例トレーニング 基礎2		
14	1	2	症例トレーニング I		
15	1	2	症例トレーニング II		
16	1	2	症例トレーニング III		
17	1	2	症例トレーニング IV		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合は有る。					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	応用実技Ⅴ			履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	鍼灸実技室
教員名	北村 恵美子				
学習目標と講義概要	<p>経絡経穴概論と東洋医学概論をもとに、実際に取穴を行い臨床家としての基礎能力を定着するようにします。 取穴は教科書の文章を丸暗記するのではなく、骨・筋等をイメージし、実際に繰り返し手を動かすことによって身につくようにしていきます。</p>				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	骨度法		
2	1	2	手の太陰肺経①		
3	1	2	手の太陰肺経②		
4	1	2	手の陽明大腸経①		
5	1	2	手の陽明大腸経②		
6	1	2	足の陽明胃経①		
7	1	2	足の陽明胃経②		
8	1	2	足の太陰脾経①		
9	1	2	足の太陰脾経②		
10	1	2	手の少陰心経①		
11	1	2	手の少陰心経②		
12	1	2	手の太陽小腸経①		
13	1	2	手の太陽小腸経②		
14	1	2	足の太陽膀胱経①		
15	1	2	足の太陽膀胱経②		
16	1	2	足の太陽膀胱経③		
17	1	2	足の太陽膀胱経④		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合は有る。					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	応用実技VI			履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	鍼灸実技室
教員名	加瀬 静馬、野澤 かおり、仲條 佐登美				
学習目標と講義概要	経絡経穴概論と東洋医学概論をもとに、臨床応用力をつける。 骨・筋等をイメージし、実際に繰り返し手を動かし刺入・施灸していく。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	足の少陰腎経①		
2	1	2	足の少陰腎経②		
3	1	2	手の厥陰心包経①		
4	1	2	手の厥陰心包経②		
5	1	2	手の少陽三焦経①		
6	1	2	手の少陽三焦経②		
7	1	2	足の少陽胆経①		
8	1	2	足の少陽胆経②		
9	1	2	足の厥陰肝経①		
10	1	2	足の厥陰肝経②		
11	1	2	腹診・脈診①		
12	1	2	腹診・脈診②		
13	1	2	東洋系診察①		
14	1	2	東洋系診察②		
15	1	2	東洋系診察③		
16	1	2	東洋系診察④		
17	1	2	東洋系診察⑤		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編を使用する場合は有る。					
教員について【実務経験有】					
担当全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	臨床実習Ⅱ		履修単位/時間	1単位/45時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	臨床実習室
教員名	大野 政明、市川 隼、加瀬 静馬、仲條 佐登美、野澤 かおり			
学習目標と講義概要	実習を通して、スポーツ選手・整形外科疾患の痛みの原因の情報を把握しインフォームド・コンセントを行い、治療の方法・意義を説明出来る。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	臨床家としての姿勢①	
2	1	2	臨床家としての姿勢②	
3	1	2	痛みの原因の把握 基礎①	
4	1	2	痛みの原因の把握 基礎②	
5	1	2	痛みの原因の把握 基礎③	
6	1	2	痛みの原因の把握 基礎④	
7	1	2	関節についての理解①	
8	1	2	関節についての理解②	
9	1	2	関節についての理解③	
10	1	2	関節についての理解④	
11	1	2	筋肉の損傷についての基礎①	
12	1	2	筋肉の損傷についての基礎②	
13	1	2	筋肉の損傷についての基礎③	
14	1	2	筋肉の損傷についての基礎④	
15	1	2	病態の聴取について①	
16	1	2	病態の聴取について②	
17	1	2	病態の聴取について③	
18	1	2	病態情報の整理の仕方①	
19	1	2	病態情報の整理の仕方②	
20	1	2	病態情報の整理の仕方③	
21	1	2	総まとめ	
22	1	2	単位認定試験	
23	0.5	1	解答解説	
合計				
23	22.5	45		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
講師作成資料				
教員について【実務経験有】				
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	臨床実習Ⅲ		履修単位/時間	1単位/45時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	臨床実習室
教員名	大野 政明、市川 隼、加瀬 静馬、仲條 佐登美、野澤 かおり			
学習目標と講義概要	実習を通して、スポーツ選手・整形外科疾患の正確に原因を探ることが出来る。 治療を組み立て、セルフケアアドバイスが出来る。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	痛みの原因の把握 応用①	
2	1	2	痛みの原因の把握 応用②	
3	1	2	痛みの原因の把握 応用③	
4	1	2	痛みの原因の把握 応用④	
5	1	2	関節損傷について①	
6	1	2	関節損傷について②	
7	1	2	関節損傷について③	
8	1	2	関節損傷について④	
9	1	2	筋肉の損傷についての応用①	
10	1	2	筋肉の損傷についての応用②	
11	1	2	筋肉の損傷についての応用③	
12	1	2	障害の原因について①	
13	1	2	障害の原因について②	
14	1	2	障害の原因について③	
15	1	2	障害の原因について④	
16	1	2	患者の全体把握①	
17	1	2	患者の全体把握②	
18	1	2	患者の全体把握③	
19	1	2	患者の全体把握④	
20	1	2	患者の全体把握⑤	
21	1	2	総まとめ	
22	1	2	単位認定試験	
23	0.5	1	解答解説	
合計				
23	22.5	45		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
講師作成資料				
教員について【実務経験有】				
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	総合領域Ⅱ		履修単位/時間	5単位/150時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	西村 希史、市川 隼、加瀬 静馬、野澤 かおり、仲條 佐登美、大野 政明			
学習目標と講義概要	<p>本次まで学んだはり師・きゅう師に必要な臨床的知識を総合的に修得し、適正な判断のもと現代医学的または伝統医学的な方法をもって患者に不利益を生じさせない施術を行える知識を獲得する。</p>			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1～5	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用1（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
6～10	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用2（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
11～15	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用3（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
16～20	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用4（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
21～25	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用5（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
26～30	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用6（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
31～35	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用7（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
36～40	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用8（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
41～45	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用9（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
46～50	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用10（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
51～55	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用11（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
56～60	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の応用12（2年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
61～65	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の応用1（2年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）	
66～70	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の応用2（2年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）	
71～73	3	6	はり師・きゅう師における伝統医学の応用3（2年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）	
74	1	2	単位認定試験	
75	1	2	解答解説	
合 計				
60	75	150		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
生理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社      病理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版      はりきゅう理論 東洋療法学校協会編：医道の日本社 臨床医学総論 東洋療法学校協会編：医歯薬出版      臨床医学各論 東洋療法学校協会編：医歯薬出版 東洋医学概論 東洋療法学校協会編：医道の日本社      経絡経穴概論 東洋療法学校協会編：医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				